



第5回 京都腎臓・高血圧談話会

日時 | 2020年 **11月21日** (土) 17:00~20:00
オンライン

共催：京都腎臓・高血圧談話会、アステラス製薬株式会社

後援：京都府医師会、京都腎臓医会、京都糖尿病医会、京都透析医会、京都府栄養士会、京滋CKD研究会、京都透析食腎臓病食研究会



第5回 京都腎臓・高血圧談話会

【Opening Remarks】

京都腎臓・高血圧談話会 会長 神田 千秋 先生

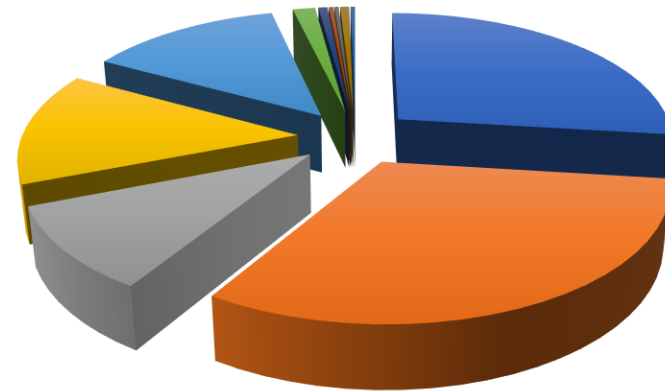


總會資料

常任世話人 (敬称略)	役職	施設名	診療科・役職
武田和夫	顧問	京都工場保健会	顧問
神田千秋	会長	京都民医連中央病院	救急総合内科科長
家原典之	副会長	京都市立病院	腎臓内科部長
吉村了勇	顧問	近江八幡市立総合医療センター	参与
和田成雄		和田内科医院	院長
鍵本伸二	副会長	かぎもとクリニック	院長
西田 眞佐志		京都第一赤十字病院	小児科部長
小山正樹		西陣病院	泌尿器科部長
八田 告	事務局	八田内科医院	院長
川手由香	事務局補佐	京都桂病院	栄養科科長
幣憲一郎		京都大学疾患栄養部	副部長
梶岡恵子		京都工場保健会	保健師
三宅健文	事務局補佐	西陣病院	薬剤部部長
河上英治		京都薬剤師会	会長
柴田晶子		向日市役所	健康推進課課長
青木正	監事	にしがも透析クリニック	院長
望月貴子	監事	京都市立病院	管理栄養士

入会会員数 323名(2020/11/19)

医師	87
栄養士	103
看護師	33
保健師	45
薬剤師	43
臨床工学技士	5
臨床検査技師	2
准看護師	1
作業療法士	1
公認心理士	2
健康運動療法士	1



会計報告 (R1/4/1～R2/3/31)

	適 用	収 入	支 出	残 高
7	19 京都府保健事業協同組合 (会館利用料)		6,480	292,566
	19 山端局 (振込手数料)		150	292,416
				292,416
11	16 第4回京都腎臓・高血圧談話会学術講演会	177,000		469,416
	参加費(¥1,000×177名)			469,416
	参加者178名 1名分未収			469,416
				469,416
12	19 会議代 (ホテルモントレ京都)		4,470	464,946
				464,946
令和 2年				464,946
2	20 保事協会館利用代金 (R2.2.18)		6,600	458,346
	(「京都腎臓病療養指導士の会」)			458,346
	20 振込手数料		152	458,194

京都腎臓病療養指導士会 [CKDE-Kyoto] 会 員 募 集

京都府内で活動している腎臓病療養指導士や腎臓病の療養指導に関心のある医療スタッフおよび関係者が、自己研鑽や情報交換などの交流をおこなう会です。



※対象：看護師・栄養士・薬剤師・保健師などの
腎臓病療養指導に関わる医療スタッフ

※入会費・年会費無料です。学術講演会に参加された際に参加費を徴収します。

■CKDEkyoto入会申込フォーム

<https://forms.gle/GS6nAc1Z2uVYP3qWA>

■京都腎臓・高血圧談話会 事務局

〒606-8084 京都市左京区修学院薬師堂町4

医療法人八田内科医院内：八田 告

TEL/FAX：075-701-4805 / 075-721-0941

E-mail: tsuguhatta@hotmail.com





京都腎臓・高血圧談話会

DKD Week pre on-line Seminar

記

日 時

11月19日(木) 19:00～20:00

開催形式

WEB開催、参加費無料

特別講演

司会: 京都民医連中央病院 総合内科 神田 千秋 先生

「『国策』となった糖尿病性腎症 重症化予防とJMAPの取り組み」

演者: (社) 日本慢性疾患重症化予防学会
専務理事 松本 洋 先生

Q&A セッション

共催: 京都腎臓・高血圧談話会、アステラス製薬株式会社
後援: 京都府医師会、京都腎臓医会、京都糖尿病医会、京都透析医会、京都府栄養士会
京滋CKD研究会、京都透析食腎臓病食研究会

第5回京都腎臓・高血圧談話会学術講演会

テーマ：「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」

日時：2020年11月21日(土) 17:00～20:00

開催形式：オンライン開催 参加費無料

募集方法：裏面参照

【Opening Remarks】17:00～17:10

京都腎臓・高血圧談話会 会長 神田 千秋先生

【特別講演】17:15～18:15(1:00)

座長：八田 告先生(医療法人 八田内科医院)



平井愛山先生

「『糖尿病性腎症重症化予防プログラム』の実践進行について
～急速進行性糖尿病腎症を中心に～」

演者：日本慢性疾患重症化予防学会(JMAP)代表理事
千葉県循環器病センター総合診療内科

平井愛山先生

※日医生涯教育講座カリキュラムコード：76:糖尿病、82:生活習慣病 各0.5単位

【パネルディスカッション】18:20～19:50(1:30)

テーマ：それぞれの立場から糖尿病性腎症重症化予防プログラムを考える

司会：鍵本伸二先生(かざもとクリニック)

草場哲郎先生(京都府立医科大学附属病院腎臓内科)

パネリスト 保健師 勝山久美子先生(京都府健康対策課 健康長寿係)
保健師 星野愛子先生(京都市保険年金課)
栄養士 中川 結先生(京都市保険年金課)
薬剤師 太田翔一先生(綾部市立病院薬剤部)
保健師 齋田晃子先生(京都府国保連合会)

コメンテーター 畑 雅之先生(京都府医師会糖尿病対策担当理事)

※日医生涯教育講座カリキュラムコード：74:高血圧症、11:予防と保健 各0.5単位

【Closing Remarks】京都腎臓・高血圧談話会 副会長 家原典之先生

※なお、本研究会は、京都府糖尿病療養指導士認定更新のための単位 2単位が認定されています。

共催：京都腎臓・高血圧談話会、アステラス製薬株式会社

後援予定：京都府医師会、京都腎臓医会、京都糖尿病医会、京都透析医会、

京都府栄養士会、京滋CKD研究会、京都透析食腎臓病食研究会

糖尿病性腎症重症化予防 プログラム

Q1 京都府版糖尿病性腎症重症化予防プログラムとは何ですか？

- A1** 京都府医師会・京都府糖尿病対策推進事業委員会・京都府の3者で糖尿病性腎症重症化予防プログラムを策定しています。
(平成29年10月、第2版改定 H30.5、第3版改定 R1.8)
医療機関未受診者・治療中断者等を医療機関に結びつけると共に、糖尿病で通院する患者のうち重症化するリスクの高い方に対して、医療保険者が医療機関と連携して保健指導を行い、人工透析への移行を防止することを目的としています。
プログラムの内容は下記のとおりです。



プログラムの詳細はこちらです。▶▶▶

プログラムの内容

対象者の選定

医療保険者が健診データやレセプトデータ等を活用して選定

医療機関未受診者対策

- ・特定健診結果が、受診勧奨判定値であるにもかかわらず未受診の方
HbA1c6.5%以上、空腹時血糖126mg/dl以上の方

治療中断者対策

- ・通院中だったが、6ヶ月以上受診していない方(治療を中断している方)

ハイリスク者対策

- ・医療機関受診中であるが腎症発症の可能性が高く、より厳格な保健指導が必要な方

介入方法

- ①受診勧奨
通知、電話、個別面談等
- ②保健指導
本人及びかかりつけ医の了解のあった方について医療保険者に所属する保健指導のスキルをもった専門職が実施

かかりつけ医や専門医等との連携

▶▶▶ 詳細は裏ページへ

Q3 かかりつけ医と専門医等は、 どのように連携するのですか？

A3 京都府版の紹介・連携基準は次のとおりです。(京都府版糖尿病性腎症重症化予防プログラムより抜粋)

糖尿病の紹介・連携基準 (京都府版)



京都府医師会・京都府糖尿病対策推進事業委員会・京都府

発行:京都府健康福祉部健康対策課

TEL:075-414-4724 FAX:075-431-3970

E-mail: kentai@pref.kyoto.lg.jp

第5回 京都腎臓・高血圧談話会

【特別講演】

座長

八田 告 先生 (医療法人八田内科医院 院長)

演者

平井愛山先生
(日本慢性疾患重症化予防学会 (JMAP)代表理事
千葉県循環器病センター総合診療内科)

『糖尿病性腎症重症化予防プログラム』の実践進行について
～急速進行性糖尿病腎症を中心に～



平井愛山先生

第5回 京都腎臓・高血圧談話会

【パネルディスカッション】18:20～19:50(1:30)

テーマ：それぞれの立場から糖尿病性腎症重症化予防プログラムを考える

司会：鍵本伸二先生（かぎもとクリニック）

草場哲郎先生（京都府立医科大学附属病院腎臓内科）

パネリスト	保健師	勝山久美子先生（京都府健康対策課健康長寿係）
	保健師	星野愛子先生（京都市保険年金課）
	栄養士	中川 結先生（京都市保険年金課）
	薬剤師	太田翔一先生（綾部市立病院薬剤部）
	保健師	齋田晃子先生（京都府国保連合会）

コメンテーター 畑 雅之先生（京都府医師会糖尿病対策担当理事）



座長 鍵本伸二先生



座長 草場哲郎先生



京都府糖尿病性腎症重症化予防 プログラムとその評価



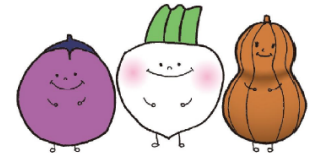
令和2年11月21日(土)
第5回京都腎臓・高血圧談話会学術講演会
京都府健康福祉部健康対策課
勝山 久美子

講演の詳細は別掲載スライドをご参照ください。



第5回京都腎臓・高血圧談話会学術講演会 令和2年11月21日(土)

京都市国保における 糖尿病重症化予防の取組



京都市保健福祉局生活福祉部保険年金課 星野愛子


講演の詳細は別掲載スライドをご参照ください。



糖尿病性腎症予防プログラムを考える
(治療中ハイリスク者への保健指導の視点から)

京都市保健福祉局生活福祉部保険年金課
管理栄養士 中川 結

講演の詳細は別掲載スライドをご参照ください。



糖尿病性腎症重症化予防プログラムを
薬剤師の視点から考える

綾部市立病院 薬剤部
太田 翔一

講演の詳細は別掲載スライドをご参照ください。



第5回腎臓・高血圧症談話会学術講演会
令和2年11月21日(土)

【パネルディスカッション】
それぞれの立場から糖尿病性腎症重症化
予防プログラムを考える

京都府国民健康保険団体連合会

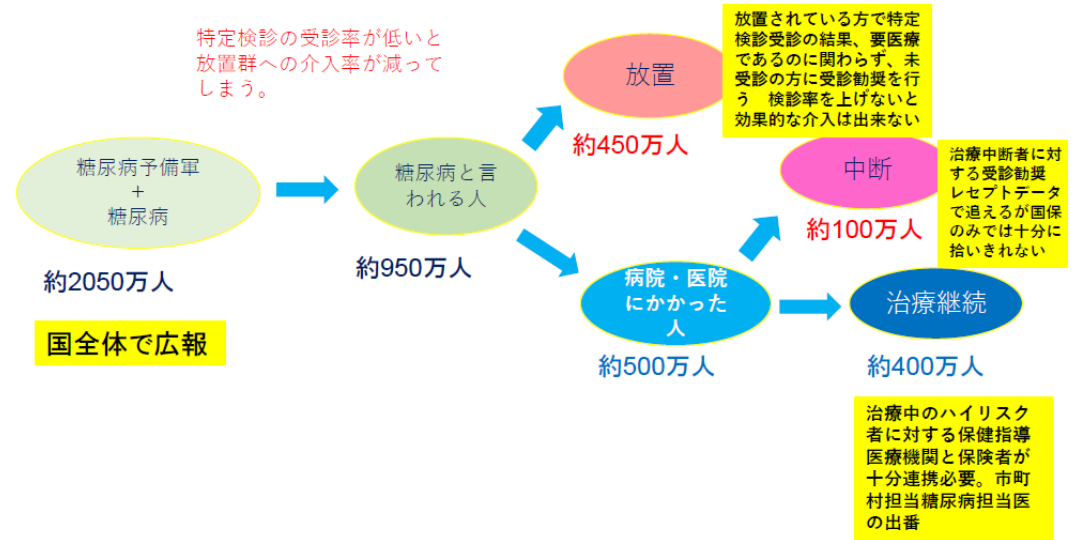
講演の詳細は別掲載スライドをご参照ください。



糖尿病と健診および治療

「糖尿病が強く疑われる人」のうち、現在糖尿病の治療を受けていない人 ---41.9%

「平成19年 糖尿病実態調査」(厚生労働省 健康局総務課生活習慣病対策室)



講演の詳細は別掲載スライドをご参照ください。

京都腎臓・高血圧談話会学術講演会
パネルディスカッション アンケート集計結果

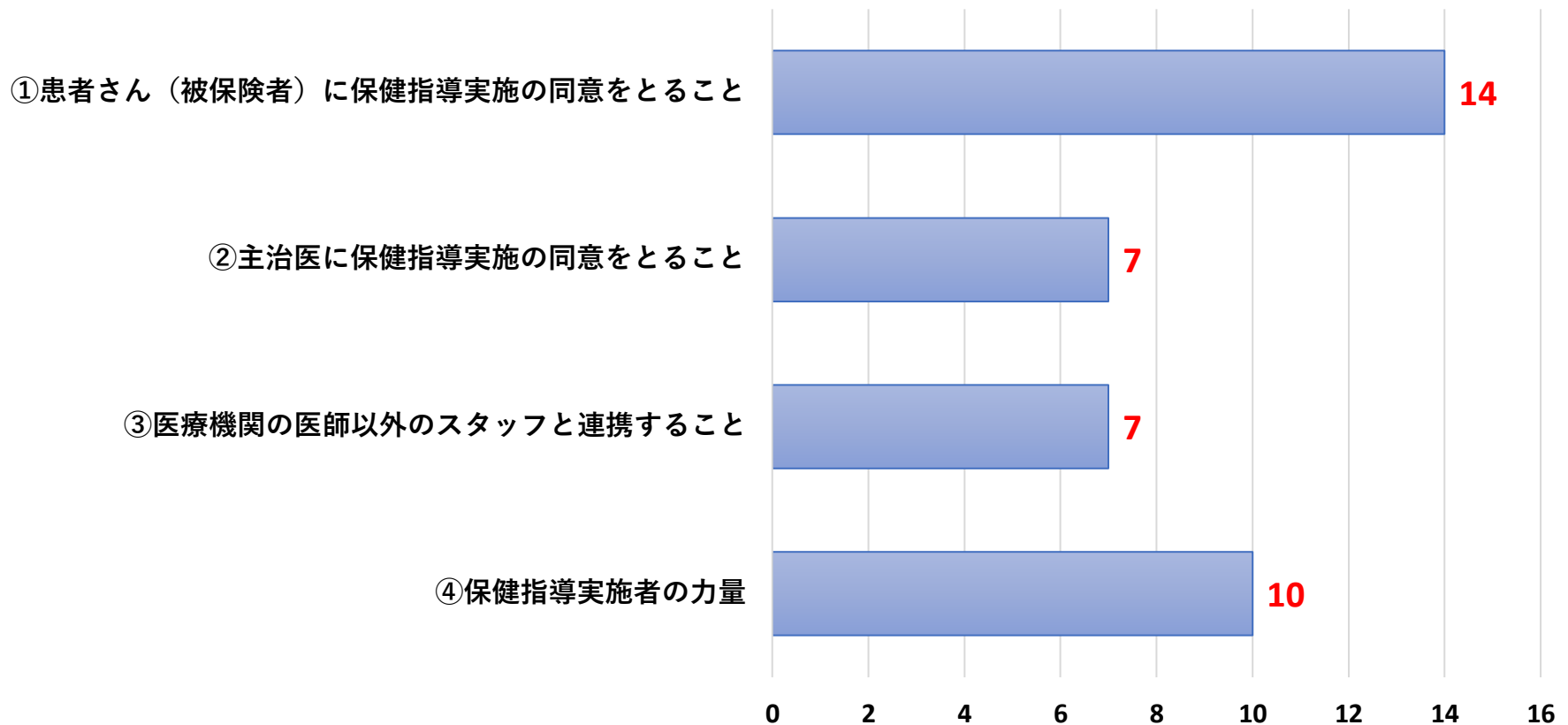
【質問】

このプログラムは、医療保険者が主体となって、医療機関と連携して、糖尿病の患者さんの保健指導を行うというものです。医療保険者が配慮すべき点のうち、一番難しいのはどのようなことだと思われますか？

- ① 患者さん(被保険者)に保健指導実施の同意をとること
- ② 主治医に保健指導実施の同意をとること
- ③ 医療機関の医師以外のスタッフと連携すること
- ④ 保健指導実施者の力量

【集計結果】

このプログラムは、医療保険者が主体となって、医療機関と連携して、糖尿病の患者さんの保健指導を行うというものです。医療保険者が配慮すべき点のうち、一番難しいのはどのようなことだと思われませんか？



回答総数38人

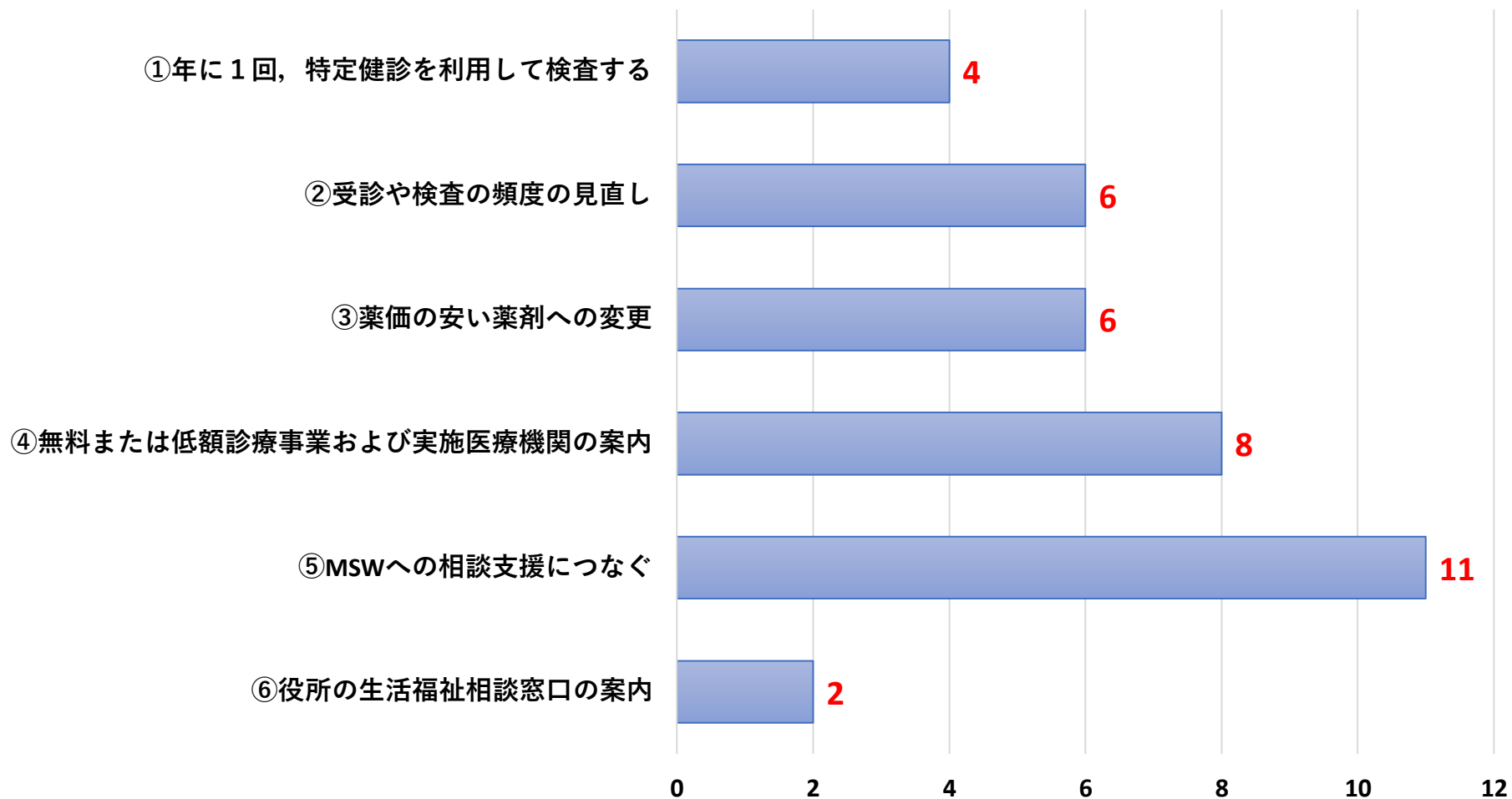
【質問】

経済的負担が大きい人が治療継続できるためにどんな提案をしますか？

- ① 年に1回、特定健診を利用して検査する
- ② 受診や検査の頻度の見直し
- ③ 薬価の安い薬剤への変更
- ④ 無料または低額診療事業および実施医療機関の案内
- ⑤ MSWへの相談支援につなぐ
- ⑥ 役所の生活福祉相談窓口の案内

【集計結果】

経済的負担が大きい人が治療継続できるためにどんな提案をしますか？



回答総数37人

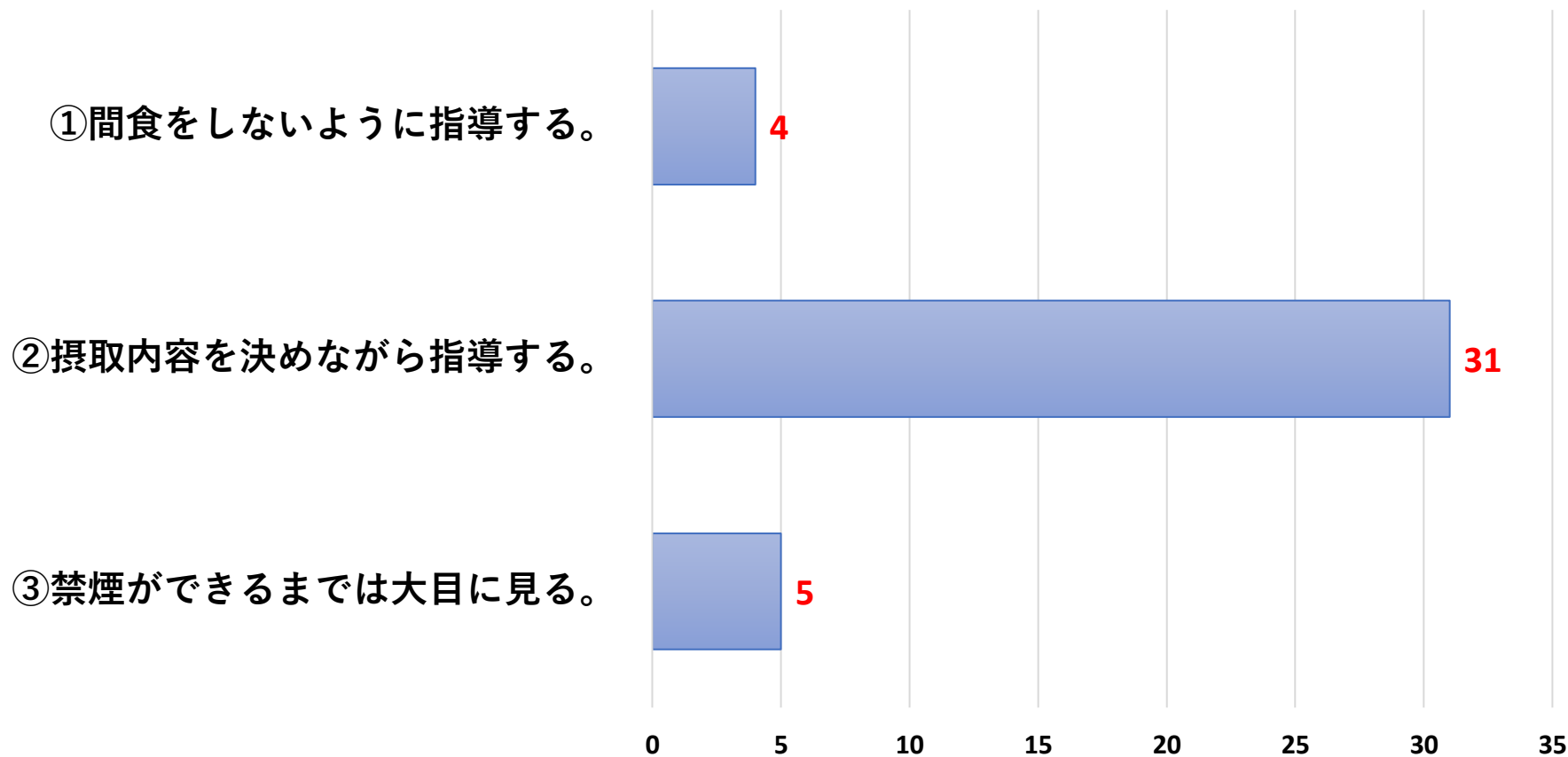
【質問】

禁煙を開始し間食量が増加している場合、どのような指導をしますか。

- ① 間食をしないように指導する。
- ② 摂取内容を決めながら指導する。
- ③ 禁煙ができるまでは大目に見る。

【集計結果】

禁煙を開始し間食量が増加している場合、どのような指導をしますか。



回答総数40人

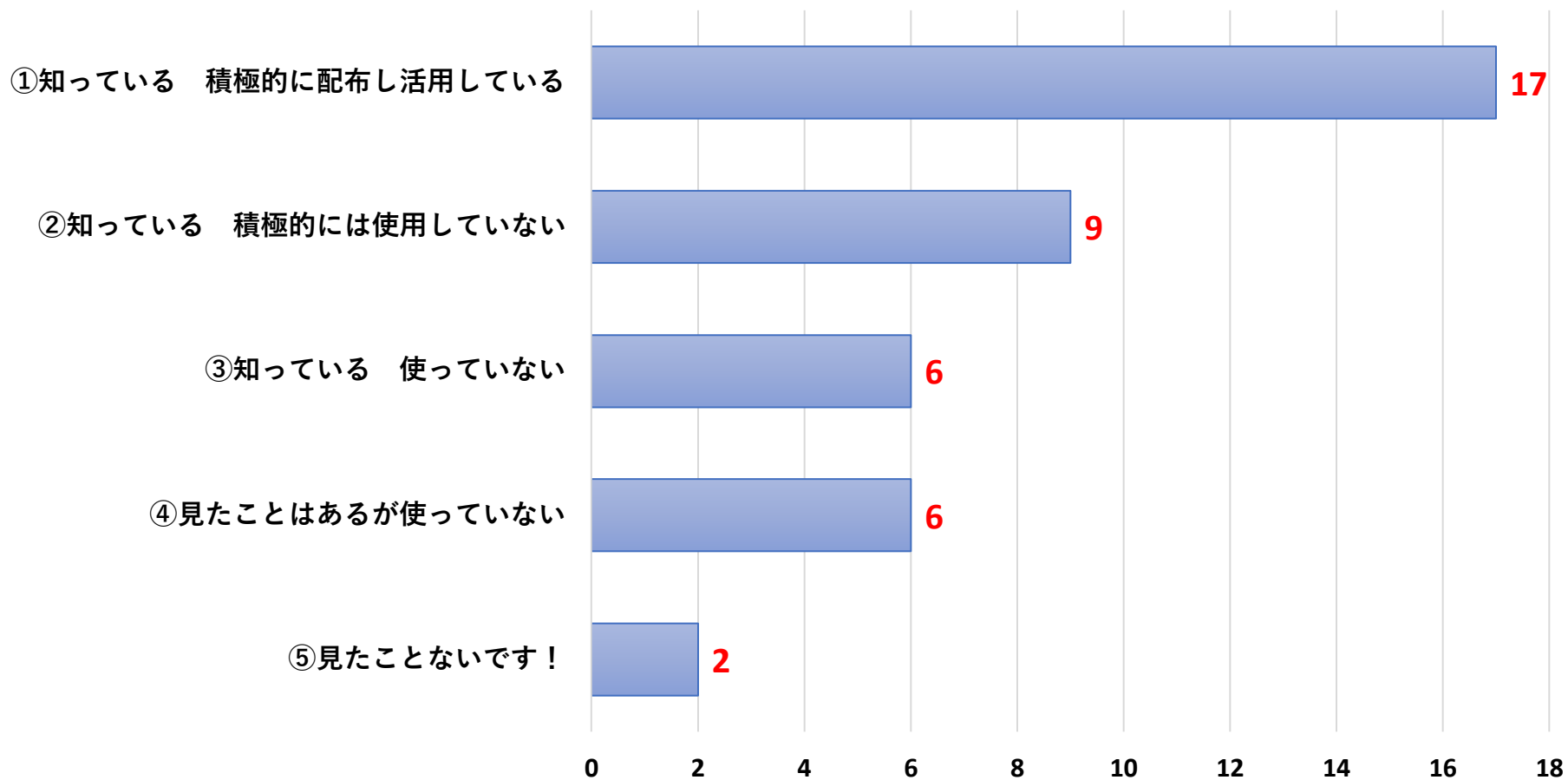
【質問】

糖尿病連携手帳 をご存じ(活用)ですか？

- ① 知っている 積極的に配布し活用している
- ② 知っている 積極的には使用していない
- ③ 知っている 使っていない
- ④ 見たことはあるが使っていない
- ⑤ 見たことないです！

【集計結果】

糖尿病連携手帳 をご存じ(活用)ですか？



回答総数40人

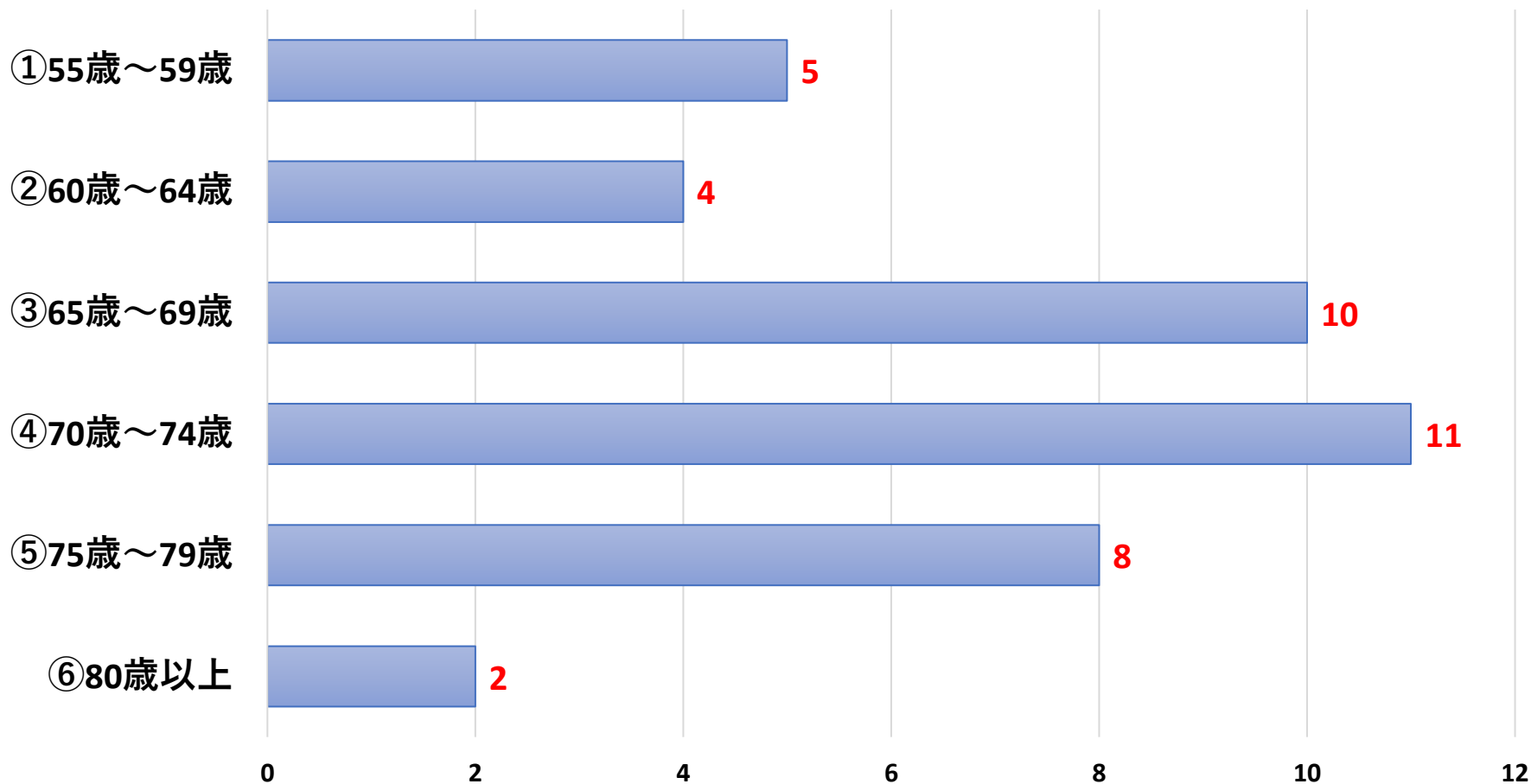
【質問】

新規人工透析導入患者の年齢は何歳が最も多いと思いますか？

- ① 55歳～59歳
- ② 60歳～64歳
- ③ 65歳～69歳
- ④ 70歳～74歳
- ⑤ 75歳～79歳
- ⑥ 80歳以上

【集計結果】

新規人工透析導入患者の年齢は何歳が最も多いと思いますか？



回答総数40人

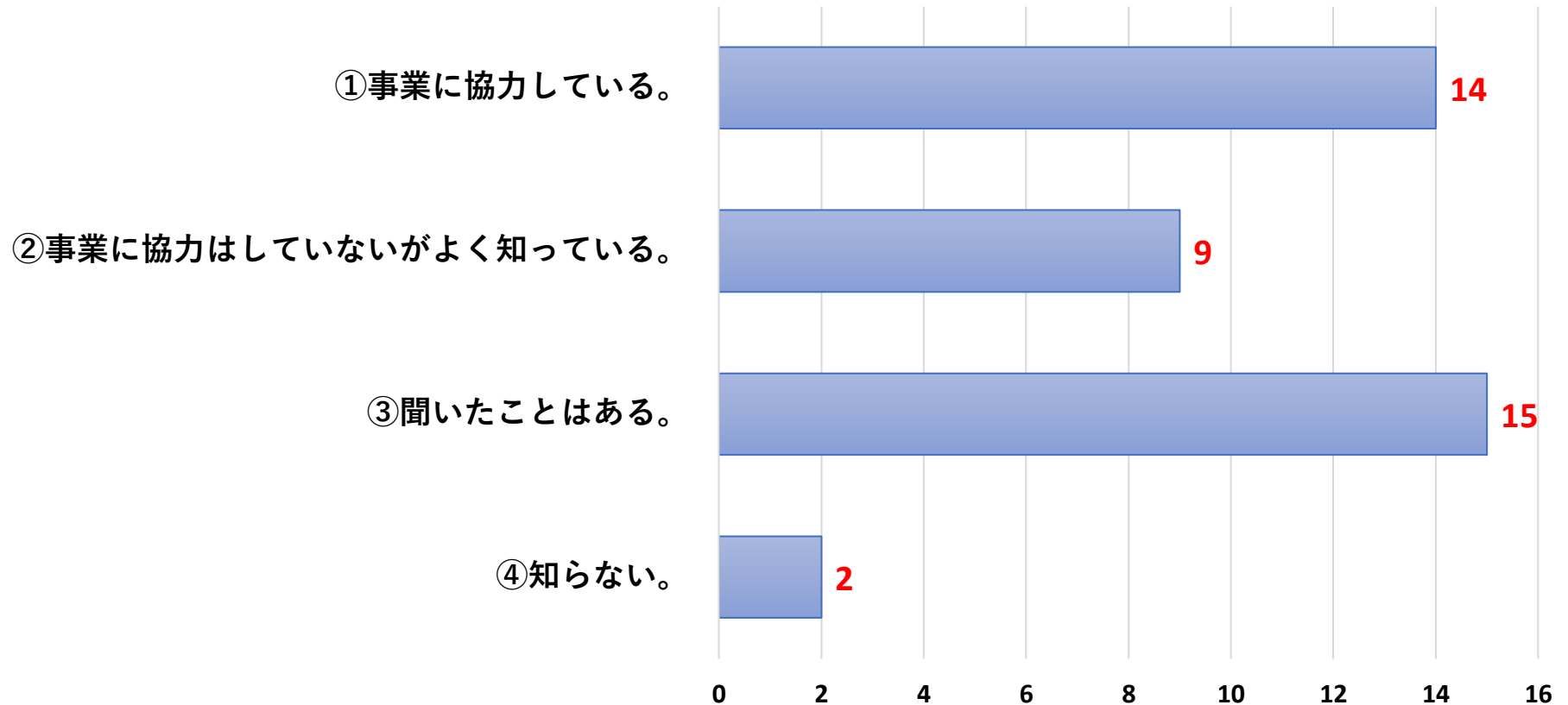
【質問】

京都府糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて
ご存じですか？

- ① 事業に協力している。
- ② 事業に協力はしていないがよく知っている。
- ③ 聞いたことはある。
- ④ 知らない。

【集計結果】

京都府糖尿病性腎症重症化予防プログラムについてご存じですか？



回答総数40人

第4回 京都腎臓・高血圧談話会

【*Closing Remarks*】

京都腎臓・高血圧談話会 副会長 家原典之 先生





開催後記

2020年11月吉日

過日は、第5回京都腎臓・高血圧談話会にオンラインながら多数ご出席頂き、誠にありがとうございました。予想以上の出席数で、この領域の関心の高さを再認識しました。

平井愛山先生の特別講演は、大変明解で即実践的なメッセージが多く、これまで積み上げてきた京都全体の取り組みを更にステップアップをさせる内容だったと思います。早速、『腎症を本気で止められる100点加算病院』の推進と『事例検討会』を励行していきたいと思います。

パネルディスカッションは、「それぞれの立場から糖尿病性腎症重症化予防プログラムを考える」と題して計6名のパネリストに登壇頂きました。それぞれの立場から、もやもやしていることなどを共有できたと思います。

オンラインで3時間を超える視聴を頂いた皆様、本当にお疲れ様でした。しかし、配信会場にいた役割者は、終了後に更にオンラインで平井先生、11/19に講演された松本先生と議論して盛り上がりました。木枯らしが吹く季節になりましたが、『京都から透析を一人でも減らす！』という熱い想いは絶やさずに、談話会の皆様と一緒に歩んでいきたいと思えます。

家原先生が最後に仰ったように腎症のみならずCKD対策は、『スタッフの援軍』なくしては叶いません。一人でも多くの方に京都腎臓病療養指導士会に入会して頂き、腎臓病療養指導士の資格取得を目指して頂きたいと思います。

来年は、R3/11/13あるいは20日の開催を予定しています。テーマは未定ですが、決まり次第お知らせします。ご意見、ご要望がございましたら、事務局 八田 告 (tsuguhatta@hotmail.com)までお寄せ頂ければ幸いです。また来年も皆様にお会い出来ますことを祈念しております(^▽^)/